



(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

常日頃、弊社をご利用頂きありがとうございます。
時代はもの凄いスピードで進んでいる事を新製品の家電や自動車などから実感できます。
山梨県の行政も時代に取り残されず、常に何かを発信しながらものづくりの環境を良くして行っ
てもらいたいものです。

今月号では**ベークライト** (紙ベーク、布ベーク) についてご紹介させていただきます。
(営業部 塚原)

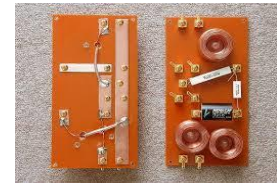
<編集者>
塚原 佳由
望月 博隆
村松 貴
赤木 健三
山田 幸平

鋼種 Q & A ~ベークライトについて~

ベークライトとは、JIS日本工業規格K-6912に規定されているフェノール樹脂というプラスチックです。
ベークライトには2種類あり、紙を基材とした**紙ベークライト**、布を基材とした**布ベークライト**があります。
紙ベークライトはフェノールと呼ばれる樹脂を紙に塗布して後に再加熱をしたもので、**布ベークライト**は紙ベーク
ライトと同じ要領で紙を布に変えて作られたものです。
紙と布の違いは紙の方が布と比べ安価(約半値)ですが、機械的な強度を要求される時は布ベークの方が使用され
ています。

ベークライトは電気的特性に優れ電気絶縁材料としてスタンダードな積層板になります。
用途としては、機械的強度、電気絶縁性や耐熱性の特性を活かし、電気部品、半導体、建材など様々な分野で利用
されています。

●主な用途・・・プリント配線基板、ハンドル、配電盤ブレーカー、取手、つまみ等
ベークライトは紫外線に弱く劣化したり、酸化すると変色(赤黒く)してしまいます。また吸水性が高いので注意
が必要な材料でもあります。
切削性については金属切削用のツールなどで削れますが、バイトなどではすくい角を零にすると良く切れます。
材料のお問い合わせなどは担当営業にお尋ね下さい。



★社長のワンポイント★

この原稿を書いているのが4月15日地元増坪町は桜の満開が過ぎて、いよいよ葉桜に向かい始めております。この町に
は隠れた桜の名所が沢山あります。城南病院の周辺、濁川土手、大小稲荷大明神、そしてここは有名ですが、小瀬スポーツ
公園の桜・・・来年は是非当社周辺の桜を御覧下さい。さて米国の動き、特に北朝鮮問題で大きく変貌しております。国民
の意識がどのようになっていくのか。「平和ボケ」というか日本国の周辺で何が起きているのか全く理解していない方も大
勢いるということ、多くの方と話をしていても、あまり気にしていない様子。周辺国が世界中で迷惑行為をしているという
現実を意識しなければ、経済の動きがつかめなくなると言う事・・・以前にも書いたと思いますが、世界の中の山梨である
と言う事をもっと意識高くしていかなければ手が打てなくなると言う事・・・安全神話は今回の騒動で消え去ったと考
えなくてはなりません。もしの話など聞きたくないと言われるかも知れませんが、仮に核兵器が撃ち込まれた場合の対応と
言うこと書きたいと思えます。「内閣官房国民保護ポータルサイト」があることご存じでしょうか?国民保護法は、正式には「武
力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」といい、武力攻撃事態等において、武力攻撃から国民の生
命、身体及び財産を保護し、国民生活等に及ぼす影響を最小にするための、国・地方公共団体等の責務、避難・救援・武力
攻撃災害への対処等の措置が規定されています。このサイトご覧いただくと幸いです。

(<http://www.kokuminhogo.go.jp/pc-index.html>)核爆弾の場合は、閃光を見ない、耳と目を守り口は空けておく(気圧
の変化対応)、うつぶせになってもお腹は地面につけておかない(波動でやられる)などなどです。北朝鮮からミサイルが
発射されたら、7分から10分で着弾しますので、緊急ミサイル情報が流れてから1,2分しか猶予がないそうです。その場合
は、頑丈な建物へ逃げ込み、上記の防御姿勢をとるようにしてください。とは言っても10分で何が出来るのか??無いこ
とを祈るしかありませんね。情報として・・・

★国中エリア 塚原★

国中の4月動向ですが期の始めなので忙しくなると思っておりましたが、終
わってみればそんなに大きく変わる事
無く過ぎたように感じます。

半導体は変わり無く高稼働を維持して
おります。

車関係では試作部品など少しづつ動き
始め出ていると聞きます。

トラック関係では大きな変動なく安定
した稼働をしています。

切削メーカーでは4月から機械の搬入
が始まり、しばらくは機械の搬入など
で騒がしくなる所もあるようです。

夏場に向かい気温も高くなりますので、
体調管理には十分気を付けて下さい。

★郡内エリア 望月★

郡内の動向ですが、3月下旬から4月中
旬にかけて減速感がでており、全体的に
非常に厳しい状況です。半導体関係は相
変わらず好調ですが、郡内では半導体関
係の恩恵が少ないです。工作機械関係で
は、F社はロボットが好調でMCも受注が
あり動いているとの事。M社も治具系が年
度駆け込みがあった様です。郡内におけ
る大手グループ会社では、各会社の製造
違いでかなりの仕事量のひらきがある様
です。自動車関係では、自動車は一服感
があり、トラックは安定しているそうで
す。食糧品関係は製造も終盤で組み立て
に入るそうです。各半導体製造会社全般
で動きが目立ちますが、その他では仕事
量の減産が目立ちます。今後の動きに注
意していきたいと思えます。

★上野原エリア 山田★

上野原エリアの動向ですが、4月に入り好
調をキープしている半導体関係が依然として
好調な動きを見せています。しかも、夏あ
たりまでは好調な動きをしていくとのお話が多
いように感じております。エコカー関係は横
ばいで推移していくとのお話でした。トラッ
ク関係はH社が試作を出したり好調なよう
です。医療器系も4月は好調なようです。

東京、埼玉、神奈川方面のお客様も半導体
関係が好調なようで、交代制にシフトしてい
るところも有るようですし、しばらく忙しさ
が続くよと言われるお客様が多いです。医療
器系のお客様も7月まで稼働率オーバーの状
況と伺いました。この先の動向をしっかりと見
ていきたいと思えます。

安来今昔 『和鋼博物館総合案内から』 Vol.9

(株)峰岸商会 代表取締役 峰岸 一郎

鋼出荷用木箱とこも包み

木箱は、山陰の鉄産地から福井県武生の金物問屋へ出荷された折に使用されたもので、蓋には「出羽鋼」、箱の側面には「印賀鋼」と墨書きされている。「出羽鋼」は島根県西部の邑智郡南町で「印賀鋼」は鳥取県日野郡日南町一帯で生産された鋼の通称である。もとは箱、蓋とも別のもので、それぞれの産地から出荷つされたのである。こも包みの特殊な縄の掛け方は、船積み作業中に誤って海中に落としたとき、釣で引き揚げるための工夫である。

雲伯鉄鋼合資会社の誕生

中国山地で生産された和鉄は、江戸時代後半から明治にかけて、安来港から各地の金物産地へ送られ、安来の町はたいへん繁栄した。しかし、明治に入ると各種の産業が興り、鉄鋼需要が急激に伸びたため、近代製鉄法による安価な鉄鋼が輸入・生産されるようになり、量産に向かないたたら製鉄は圧迫された。これを危惧した出雲(島根県東部)、伯耆(鳥取県西部)地方のたたら経営者など5名は、明治32(1899)年、安来港に近い問屋街の一角に「雲伯鉄鋼合資会社」(代表・松浦弥太郎)を設立して、錬鉄などの製造販売をはじめ、自社の鉄はもとより、奥出雲の鉄の代理販売も手がけ、広島県にある海軍兵器製造所の他、北陸地方や四国・近畿地方一円を販売圏とした。明治42年には、安来鉄鋼合資会社と社名変更をし、その後も何度かの社名変更を経て、現在の日立金属(株)安来工場に到っている。

